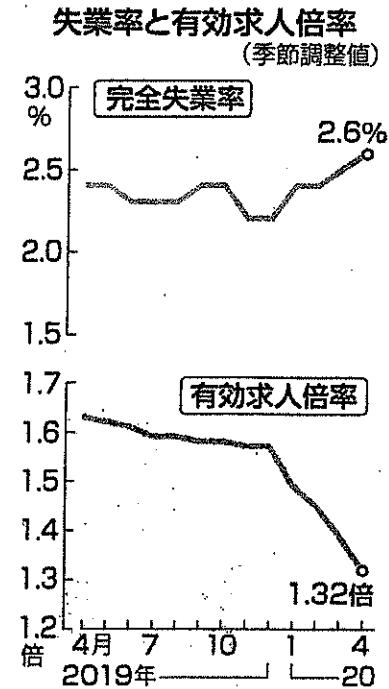


5/30
赤旗

求人數最悪5.5%減 失業率2.6%に悪化



厚生労働省が29日発表し、求人倍率はハローワークで、求人数は8・5%減と、過去最大のマイナス幅（季節調整値）は前月比0・07を記録。低下の1・32倍と急落しました。2016年3月以来4年1ヶ月ぶりの水準です。

緊急事態宣言の発令で、経済活動の自粛が広がり、雇用情勢の悪化が続いています。

総務省が29日発表した4月の労働力調査によると、就業者数（原数値）は前年同月比80万人減の662万人と、12年12月以来7年4ヶ月ぶりの減少。特に

女性のパートの減少（52万人減）が目立ち、非正規労働者数が97万人減となりました。

また、休業者数は420万人増の597万人と激増。人数と増加幅は過去最大でした。

求人倍率はハローワークに申し込んだ求職者一人当たりの求人数。新型コロナの感染予防で仕事探しを断念した人が多く、求職者数（季節調整値）が前月比3・4%減少したため、求人倍率の下落幅が抑えられた面もあります。

厚労省が把握している新型コロナによる解雇や雇い止めは28日時点で1万5823人。このうち5月分が1万2052人で、宿泊やタクシー・観光バス、製造、飲食の業種を中心に急拡大しています。